資料－２

公共工事等における新技術活用システム
事前審査結果

技術名称	ＰＲＥＤＡＭ（プレダム）工法（NETIS登録番号：CB-060009-A）
申請者名	若築建設株式会社

確認対象	コメント
経済性	浚渫、汚濁防止対策を含めて経済性を確認することが望ましい。

確認対象	判　　定	コメント
１.安全性	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	以下の項目などに十分留意して、底部止水材を設計する必要がある。 ・設置箇所の不陸の影響 ・作業函分割部における止水材の継手構造、止水性能 ・止水材の形状寸法、温度が止水材に及ぼす影響 ・作業函転用時の止水材の性能低下（形状復元性、止水性など） ・作業函の設置精度
２.耐久性	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	作業函転用時の止水材の性能低下（形状復元性、止水性など）について留意する必要がある。
３.品質、出来形	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	実施工にあたっては、設置箇所の不陸の許容値±30㎜の止水性について確認する必要がある。
４.施工性	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	以下の項目などに十分留意して、施工方法、手順を確認する必要がある。 ・波浪、流水圧等の影響を考慮した作業函の浮体の安定性（水上組立時、曳航時、分割時、沈設時） ・作業函、浮力体の分割・結合・沈設時の位置決めとその保持方法 ・本工法の特殊性を考慮した設置時作業限界の設定
５.環境	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	河川での使用に際して締切のない状態で浚渫を行う場合には、以下の点を考慮する必要がある。 ・水質汚濁への対処 ・従来技術に比べ浚渫量が増加する点
６.その他	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	実施工にあたっては、鋼殻の製作・修理等、現場に提供されるまでの期間を考慮する必要がある。

確認対象	コメント
効果及び適用条件・適用範囲	類似の新技術はあるが、新規性は高く、工費・工期の縮減が期待できる。また、止水性能については類似工法及び室内実験により確認されているが、実施工にあたっては施工箇所にあった底部止水ゴムの設計・施工法の妥当性（施工性、施工精度）など、個別の現場条件について十分確認、評価する必要がある。 適用条件、適用範囲（水深、波浪、風等）については、本工法の特殊性を考慮して評価する必要がある。

総合的評価	□現場での試行可（□全額負担　□一部負担）【　　】 ■条件付試行可　（□全額負担　■一部負担）【標準工法までは官負担、それを超える部分は申請者負担】 □技術的改善を要する。【　　】 □事前審査のためのデータが不足している。【　　】

※審査結果の内容についてのお問い合わせおよび再審査に関するご相談は新技術活用評価会議事務局にお寄せください。

連絡先：東北地方整備局新技術活用評価会議事務局
担当：東北地方整備局
企画部　施工企画課
課長補佐　川津孝徳
施工係長　山本　賢
TEL：022-225-2171